

ここが聞きたい 3人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



石川 保 議員 (6ページ)

- ① LRTに伴う、かしの森公園の整備と沿線の住環境について
- ② 下原地区計画について



北條 勲 議員 (7ページ)

- ① 芳賀チャンネルについて
- ② 外国人の対応について



大根田 周平 議員 (8ページ)

- ① LRT導入による魅力あるまちづくりについて



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は9月3日からの予定です〉

みんなで議会を 傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも
放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から

再放送 翌日の午後2時から





石川保が問う

LRTに伴う、かしの森公園の整備と沿線の住環境について

問 LRT開通に伴い、かしの森公園前には停留所ができ、利用者の高まりにより公園内各設備の再整備をどのように考えているのか。

答 町長 ①公園内グラウンドは野球以外の利用を考えています。②売店については、今後の状況を見極め検討していきます。③桜の公園として観光面でも重要な位置づけをしています。庁舎内検討組織を設け、全体整備の中で考えていきます。

再整備を検討する中で考えています。また、西側の出入り口については、雨水排水が課題となっており、一体的に整備できないか検討していきます。

また、周辺の生活道路の拡幅と安全性については、今後の交通状況に合わせて考えていきます。

再整備を検討する中で考えています。また、西側の出入り口については、雨水排水が課題となっており、一体的に整備できないか検討していきます。

問 LRT開通に伴い谷津ボックスカルバート付近の環境整備はどうか。

答 町長 LRTの騒音、振動については問題ないと考えています。ボックスカルバート内の狭小さについては、出入り口部分の改善を含め整備を検討していきます。

問 LRT開通に伴い谷津ボックスカルバート付近の環境整備はどうか。

答 町長 LRTの騒音、振動については問題ないと考えています。ボックスカルバート内の狭小さについては、出入り口部分の改善を含め整備を検討していきます。

また、周辺の生活道路の拡幅と安全性については、今後の交通状況に合わせて考えていきます。

答 建設産業部長兼都市計画課長 出入り口の拡幅については、

り口の拡幅については、

下原地区計画の成功は芳賀町の発展に繋がる

問 少子高齢化が進む中、芳賀町には「工業団地やLRT」などポテンシャルの高い条件がそろっている。それらを活かしてこの計画を成功させることで若年層の定住を促進する位置付けにはならないか。

答 町長 第6次振興計画において若い年代の人口流出を人口減少の要因と捉え、分野にまたがるリーディングプロジェクトとして位置づけしていきます。地元まちづくり研究会と連携して地区計画を活用して既存住宅の環境改善と農地等都市的利用の転換を誘導し、生活の拠点の形成を図ります。



▲谷津ボックスカルバート



▲下原地区内を通る町道0116号線（三日市・工業団地線）

問 LRT開通に伴うトランジットセンターの整備により、下原地区一体の回遊性を活かした、歩道の安全性の一体的整備は。また、企業保有の空き家のあり方については。

答 建設産業部長兼都市計画課長 今後、地域住民、道路管理者、交通管理者と協議の上、歩行者安全性を最優先に考え、快適で安全・安心な生活環境と道路のあり方を検討します。また、企業保有の空き家については適切な管理をお願いするとともに、活用の方向性を考えていきます。



北條勲が問う 芳賀チャンネルについて

問 町長及び議員の選挙が今回放映されなかった理由は。

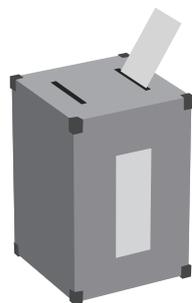
答 **選挙管理委員会委員長** 今回は開票の正確性と選挙結果を速やかに公表することが最重要と判断し、生中継は行わず、芳賀チャンネルのデータ放送と芳賀町ホームページでの開票速報としたためです。

問 芳賀チャンネルの放映権は。

答 **選挙管理委員会書記長** 基本的に管理運営は企画課です。選挙については選挙管理委員会です。

問 芳賀チャンネルの選挙の関心度をデータ放送でアンケートできないか。

答 **企画課長** 押しボタン方式の機能は確認していません。毎年、加入者に行っている放送に関するアンケート調査の中に取り入れます。



問 芳賀チャンネルの総費用額は。

答 **企画課長** 平成20年から30年までで約11億2100万円です。

外国人の対応について

問 今年の4月から出入国管理法が改正され5年間で34万人を受け入れる見込みです。当町での外国人の対応は。

答 **町長** 特定技能を取得するためには日本語が理解できると、また、外国人と直接雇用契約を結ぶ企業は、職場・日常・社会の各生活の支援が義務付けられています。県でも今年の4月に、とちぎ外国人相談サポートセンターを開設し対応しています。当町の4月現在の外国人は150人です。技能実習生は受け入れ先の事業主が付き添って来ます。現在、通訳の支援の求めはありません。しかし、支援の求めがある場合には県

等と連携し対応を考えます。

問 外国人の主な国は。

答 **住民課長** 現在17ヶ国です。国別では中国人45人、ブラジル人27人、ベトナム人23人などです。

問 農業に従事している外国人の人数は。

答 **農政課長** 技能実習に分類される農業研修生は23人です。

問 外国人対応の防災マニュアルは。

答 **総務企画部長** 外国語の申し出が出てきた場合は検討します。

問 お互いに自国語のままでも対話できる通訳機を設置する考えは。

答 **企画課長** 今後、需要に応じて必要かどうか検討します。





大根田周平が問う
LRT導入による
魅力あるまちづくりについて

問 下原地区計画の進捗状況は。

答 町長 平成29年度に策定した行政素案のまちづくり構想をふまえて、町都市計画課と下原地区まちづくり研究会が連携して検討しています。これまでに地区内の意向調査、役員によるまち歩き、地区座談会などを実施しました。本年度は公共施設の整備や良好な環境形成のためのルール策定など、具体的な議論を重ね、LRT、トランジットセンターの整備による波及効果を生かした生活拠点の形成を目指したいと考えています。

問 建設産業部長兼都市計画課長 県の類型用途地域の「第二種低層住居専用地域」と同程度にすることが望ましいのではないかと考えています。指定すると小規模店舗、福祉施設などの建設、道路、雨水排水など生活環境の向上に役立つと考えています。

答 建設産業部長兼都市計画課長 町のまちづくりの都市空間をコンピューターの中で立体化して様々な視点で確認できるバーチャルリアリ

問 ティーを導入しては。建設産業部長兼都市計画課長 先進事例などを研究・調査しながら検討したいと考えています。

答 町長 交通手段との乗り継ぎの機能だけでなく、既存施設との連携や地域拠点として、まちづくりの全体像を含めた検討が必要であり、構想をより具体化できるよう取り組んで参ります。

問 湯と一体となった観光資源として定着しており、現状のまま存続させたいと考えています。肉の駅については、食肉の卸売市場が直営店として設置している例があるようですが、現時点で同様の施設を設置する予定はありません。なお、食肉センターが建設される元畜産試験場跡地27ヘクタールのうち、残りの17ヘクタールについては栃木県が利用方法を検討しています。

答 町長 これまでの答弁で申し上げたとおり、道の駅を今後とも存続させていく考

問 道の駅を移転した跡地に農業者トレーニングセンターと保健センターを統合し仮称「総合保健福祉センター」を建設しては。

答 町長 これまでの答弁で申し上げたとおり、道の駅を今後とも存続させていく考

問 下原地区は現在、市街化調整区域ですが用途地域に変更する考えは。

答 建設産業部長兼都市計画課長 研究会の役員さんなどと協議しながら検討していきたいと思えます。

問 まちづくりの都市空間をコンピューターの中で立体化して様々な視点で確認できるバーチャルリアリ

答 町長 道の駅については、ロマンの

問 祖母井市街地まで延伸した場合トランジットセンターはどの辺に設置するのか。

答 町長 交通手段との乗り継ぎの機能だけでなく、既存施設との連携や地域拠点として、まちづくりの全体像を含めた検討が必要であり、構想をより具体化できるよう取り組んで参ります。

問 道の駅を移転した跡地に農業者トレーニングセンターと保健センターを統合し仮称「総合保健福祉センター」を建設しては。

答 町長 これまでの答弁で申し上げたとおり、道の駅を今後とも存続させていく考

問 えであることから、現時点で提案の施設を建設する計画はありません。しかし、保健センターは築39年が経過し、施設の老朽化が見られるほか、多様化する健康ニーズにも必ずしも対応できない状況です。財政状況などをお勘案し、本年度策定する第6次振興計画の中期基本計画で整備の検討を進めます。



▲LRT導入のイメージ図